



教育目標 げんきで なかよく がんばる子

祝創立50周年

第6号

令和7年9月30日

八王子市立松が谷小学校

松が谷

5年生 八ヶ岳移動教室

校長 沓澤 広明

9月24日から1泊2日で、5年生が八ヶ岳移動教室を実施しました。2日間とも天候に恵まれ、全ての行程を滞りなく終えることができました。出発式では、子どもたちで決めた「スローガン“メリハリつけて みんなで楽しむ八ヶ岳 学んで帰ろう 松小に”」と「松が谷4箇条“①協力②整理整頓③5分前行動④話を聞く”」を全員で確認し、学校の代表として自覚をもって出発しました。

入笠山のハイキングでは、標高1955メートルの山頂を目指して一步一步足を進めました。険しい登り坂に息を切らしながらも、友達に「荷物を持ってあげようか。」と優しく声をかける姿があり、互いに励まし合いながら登頂しました。山頂に立った子どもたちの顔は、苦勞を乗り越えたからこそ得られる達成感で輝いており、この経験が自信となって今後に活かされていくことを確信しました。



入笠山山頂

キャンドルファイヤー



夜にはキャンドルファイヤーが行われました。爆弾ゲームや震源地ゲーム、130アウトなどの活動で大いに盛り上がり、会場は笑顔と歓声に包まれました。さらに、「ぼくらの八王子」や「ソーラン節」を踊る姿からは、仲間とともに楽しむ喜びが伝わってきました。

宿舎での生活も大切な学びの場となりました。食事の片付けが次第に上手になり、布団の片付けがとても丁寧であることを宿舎の方から褒めていただきました。自分たちの生活を自分たちで整える経験を通して、家庭や学校では得られない貴重な学びと成長の機会を得ることができました。

2日目は、サントリー白州蒸溜所を訪れました。ガイドの方の説明を真剣に聞き、自然と共生しながらものづくりを行う姿勢に触れることができました。その後の滝沢牧場では、乗馬体験に胸を弾ませ、濃厚なソフトクリームの味に感動し、心身ともに充実した時間を過ごしました。

この2日間、子どもたちは学校の代表としての自覚と責任を意識しながら行動しました。協力し合う姿や礼儀正しい態度には、これまでの学びの積み重ねが表れていました。集団行動を通して、より一層成長できる点も見えてきました。その学びを次の成長への足掛かりとして、学校生活に活かしてほしいと願っています。高学年として、全校児童の手本となる姿をより一層発揮してくれることを期待しています。

滝沢牧場



最後になりますが、移動教室の実施にあたり、事前の準備や荷物の用意などでお力添えいただいた保護者の皆様に心より御礼申し上げます。お子様一人ひとりが大きな学びと成長を得られたのは、皆様のご支援の賜物です。今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、学校と家庭とで手を取り合って歩んでまいりたいと思います。